

■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第 28 号 ■■■  
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.28

<http://jws-assoc.jp/>  
E-mail: ws@univcoop.or.jp

\*\*\*\*\* INDEX \*\*\*\*\*

- 大会関係
- 2012年度活動方針
- 第11回大会のお知らせ
- 『福祉社会学研究』第9号刊行と第10号の投稿募集
- 理事会報告
- 新入会員紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

\*会員の方々には、この号の印刷版も送付されています。

■大会関係

【第10回大会】 第10回福祉社会学会大会が、去る2012年6月2日・3日に東北大学川内キャンパスにて盛況のうちに開催されました。参加者は100名（うち非会員2名）でした、東北大学では2011年の第9回大会開催を予定していましたが、東日本大震災の影響のため順延されていたものです。

【総会報告】 大会初日の午前中に理事会が開催され、諸案件について承認・決定されました。これを受けて、2日目午後に総会が開催されました。総会は武川正吾会長の挨拶、永井彰大会実行委員長の挨拶の後、高野和良会員（九州大学）が議長に選出され、議長の進行のもと報告と審議が行われました。

●報告事項・審議事項

1. 庶務・事務局 田淵庶務理事・事務局長より以下が報告された。
  - (1)会員数 2012年6月1日現在の会員数は475名である。
  - (2)国立情報学研究所による学会ホームページサービスの終了に伴い、本学会のホームページは2011年10月より管理を国際文献印刷社に委託し、URLも変更された。
  - (3)次回ニューズレター（第28号）は7月刊行予定である。
  - (4)ニューズレター第26号（2012.1.23）に掲載されたとおり、2011年12月開催の理事会にて2012年度の会費値上げは延期することが承認された。
2. 研究委員会 天田研究委員長より以下が報告された。
  - (1)2011年度の福祉社会学会研究会は7回開催された。今大会後も6月、7月に開催予定。
  - (2)2012年度の第11回福祉社会学会大会は立命館大学で開催の予定。シンポジウムなどの準備を進めている。
  - (3)今大会のシンポジウムが震災を扱った学際的なシンポジウムであり、非会員の方への交通費・謝礼に約19万円の支出が必要となったことをうけて、2012年度の研究委員会予算は昨年より7万円増の38万円とすることが理事会にて承認された。2011年度委員会予算が13万円の黒字であったことも踏まえた臨時的な措置である。
3. 編集委員会 安立編集委員長より以下が報告された。
  - (1)『福祉社会学研究』9号が刊行された。予定より遅れての刊行となった。

- (2)9号では投稿論文が減ったため、会員の積極的な投稿をお願いしたい。
- (3)会員による単著の書評を積極的に行っている。出版された著書はぜひ一部編集委員会に送られたい。
- (4)10号の投稿申し込みは9月10日前後を締め切りとする予定。
4. 十周年記念事業 三重野担当理事より以下が報告された。
- (1)十周年記念出版企画として、『(仮)福祉社会学入門—福祉と社会をひもとくキーワード』(福祉社会学会編、三重野・稲葉・神山・鍾・高野・仁平・船橋編)の出版企画を2013年3月末刊行予定で進めている。
- (2)2013年の第11回大会の一部として十周年記念シンポジウムを行う予定である。ご意見があれば寄せられたい。
- (3)2014年の世界社会学会議に向けて、社会学系コンソーシアムの呼びかけにより、「世界へのメッセージ」原稿を福祉社会学会でもとりまとめる。担当は藤村、田淵、武川、須田、仁平会員の予定である。
5. 社会学系コンソーシアム 下夷担当理事より以下が報告された。
- (1)2012年1月22日に開催された社会学系コンソーシアム公開シンポジウムに本学会より佐藤恵会員が登壇された。
- (2)「世界へのメッセージ」への原稿依頼は十周年記念事業委員会に検討を依頼した。
- (3)コンソーシアムでは今年度もシンポジウムを開催予定であり、情報は会員に周知する。
6. 社会政策関連学会協議会 平岡担当理事より以下が報告された。
- (1)協議会の2011年度シンポジウムが大震災をテーマとして2012年2月25日に開催された。
- (2)今年度もシンポジウムの開催準備を進めている。
7. 『福祉社会学研究』のJST電子アーカイブへの掲載について 田淵庶務理事より、『福祉社会学研究』の5号までについてJST電子アーカイブへの掲載準備作業が進められ、近く公開予定であることが報告された。
8. 11年度決算の提案・監査報告 田淵庶務理事より2011年度決算案について説明がなされた。引き続き、高橋睦子監事より、三本松政之・高橋両監事による同案の監査報告が示され、承認された。
9. 12年度活動方針の提案 田淵庶務理事より「2012年度活動方針案」が提示され、承認された。
10. 12年度予算の提案 田淵庶務理事より2012年度予算案について説明がなされ、承認された。
11. 第11回大会開催校の提案 田淵庶務理事より第11回大会開催校として立命館大学が提案され、鎮目真人実行委員長の代理で天田理事より挨拶が行われた。立命館大学衣笠キャンパスにて13年6月に開催予定であること、事務局長は角崎洋平会員が務める予定であることが報告された。
- その後、議長交代の後田淵庶務理事が閉会を告げ、第10回大会総会はつつがなく終了した。

---

## ■2012年度活動方針 総会にて2012年度活動方針が決まりました

---

1. 福祉社会学会は、これからも、福祉(welfare, well-being)や社会政策の社会学に関心を持つ研究者中心の学術団体として活動していきます。
2. 第10回大会を、2012年6月に東北大学で開催します。2013年度開催の第11回大会についても、その準備を進めていきます。
3. 機関誌『福祉社会学研究』の第10号の年度内刊行をめざして、編集作業を進めていきます。
4. 大会に加えて、国際交流も含めた多様な研究交流活動に積極的に取り組みます。昨年度は研究会を年7回開催しましたが、今年度も、若手研究者支援活動など研究会活動の活性化をはかっていきます。
5. 日本学術会議の協力学術研究団体として、いっそう他の学術団体との連携につとめていきます。
6. 学会創設10周年記念事業の企画を進めていきます。
7. 学会誌のJST電子アーカイブへの掲載を契機に、研究成果の対外的発信をいっそう進めていきます。
8. WebやEmailを活用し、事務の外部委託による効率化などによって、会員への情報・サービス提供の充実と事務作業の簡便化を進めるとともに、確実な情報提供につとめていきます。

---

## ■第11回大会のお知らせ

---

福祉社会学会第11回大会は、2013年に立命館大学衣笠キャンパス（京都市北区等持院北町56-1）で開催されることになりました。詳細は決まり次第、ニューズレターおよびホームページでお知らせいたします。

---

## ■『福祉社会学研究』第9号刊行と第10号の投稿募集 第10号の投稿締切は9月11日必着です

---

●【第9号の刊行】『福祉社会学研究』第9号(Journal of Welfare Sociology, No.9)が刊行されました (ISSN 1349-3337 ISBN978-4-7989-0128-2 C3036)。目次は以下のとおりです。

◆特集 東日本大震災と福祉社会の課題

特集のねらい：—〈交響〉と〈公共〉の臨界—岡部耕典  
〈災害時経済〉とモラル・エコノミー試論—似田貝香門  
セーフティネット構造と震災対策の課題—鎮目真人  
キャッシュ・フォー・ワークとワークフェア—小林勇人  
東日本大震災と男女共同参画—下夷美幸  
後ろに付いていくこと+すこし—立岩真也  
二つの震災と市民セクターの再編—仁平典宏

◆自由論文

医療の論理が認知症ケアにもたらすもの—井口高志  
ひろば型子育て支援における「当事者性」と「専門性」—松木洋人

◆書評

中嶋和夫監修 尹靖水・近藤理恵編著『多様な家族時代における新しい福祉モデルの国際比較研究』  
—和泉広恵  
佐藤恵著『自立と支援の社会学』—土屋葉  
「支援」編集委員会編『支援』Vol.1—天田城介  
白波瀬佐和子『生き方の不平等』—熊本理抄  
須田木綿子『対人サービスの民営化』—山下順子  
仁平典宏『「ボランティア」の誕生と終焉』—平野寛弥  
松繁卓哉『「患者中心の医療」という言説』—金子雅彦  
松村直道『介護予防支援と福祉コミュニティ』—金貞任  
山田昌弘編著『「婚活」現象の社会学』—益田仁

●【原稿募集】 下記要領で、『福祉社会学研究』第10号の自由投稿論文を募集します。投稿資格は本学会員に限ります。2012年度の加入者については、2012年の大会時までに入会済みであることが条件となります。

1. 論文の種類、自由投稿論文 福祉社会学研究の学術論文とします。なお、投稿資格は、本学会員に限ります。
2. 掲載の可否 レフェリーの査読結果に基づき、編集委員会が決定します。
3. 締め切り 2012年9月11日(火) (必着)
4. 論文の分量 20,000字以内とします。スペースは字数に含めません。
5. 投稿規程、執筆要領 投稿規程、執筆要領は必ず、ウェブサイト等で確認してください。論文の分量が超過するなど、執筆要項が守られていない場合には、投稿論文を受け付けません。投稿は紙媒体ではなく電子ファイルで行います。投稿する場合には、ワードの文書ファイルの形式で、メールにて編集委員会事務局までお送りください。かならずファイルのバックアップを取った上で、必要に応じてパスワードを付けてください。その場合には別のメールにてパスワードをお知らせください。紙媒体の提出は一切必要ありません。
6. 自由投稿論文提出先、問い合わせ先 投稿は受領後に受領通知をお知らせします。受領通知の発

行をもって、論文の投稿が成立します。投稿後1週間以上経過しても受領通知が到着しない場合には、編集委員会事務局までお問い合わせください。

〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1 立命館大学産業社会学部鎮目真人研究室内  
福祉社会学会編集委員会事務局（メールアドレス shizu@fc.ritsumei.ac.jp）

---

## ■理事会報告

---

●2012年度・第1回理事会の議事録（上記【総会報告】との重複部分など一部省略）

日時：6月2日（土）10時30分～12時30分

場所：東北大学 川内キャンパス 文学研究科 337 演習室

出席者：安立、天田、岡部、株本、鎮目、下夷、武川、田淵、中田、野口、平岡、藤村、三重野、三井

●報告事項・審議事項

1. 第10回大会の開催・運営について、下夷理事から報告があった。
2. 研究委員会報告：天田研究委員長より(1)2011年度研究会、(2)第11回大会への準備状況などが報告された。続いて2012年度予算の研究委員会予算について、前年度比で7万円の増額とする件の説明と提案があり、審議の結果これを総会に諮ることとした。
3. 編集委員会報告：安立委員長および鎮目副委員長より、第9号刊行にかんする事項が報告された。刊行スケジュール遅延の問題について、予算年度をまたぐ刊行が常態化するの望ましくないため、投稿締切の変更、予算案の変更などの案をワーキンググループにて12月理事会までに検討することを決定した。WGメンバーは安立委員長、三重野理事、田淵庶務理事とする。
4. 学会賞選考委員会報告：野口委員長より、2011年度は実質的活動は行われなかったこと、2012年末までに刊行されたものを対象に2013年3月までに選考を行う予定であることが報告された。
5. 事務局報告：田淵庶務理事よりメルマガ配信スタンドを用いたニューズレター配信に切り替えたこと、(2)東信堂からの学会誌売上げ還元金を刊行費用請求と相殺予定であることなどが報告された。
6. 社会学系コンソーシアム報告：下夷担当理事より「世界へのメッセージ」原稿作成の検討を10周年事業委員会に依頼したことなどの報告があった。
7. 社会政策関連学会協議会報告：平岡担当理事より報告があった。
8. 10周年記念事業報告：三重野担当理事より、10周年記念出版の進行状況、「世界へのメッセージ」の検討状況などが報告された。「10周年記念シンポジウム」は審議の結果、第11回大会で大会シンポジウムと並行して行うことを検討することを決定した。
9. 12年度活動方針案について：田淵庶務理事より報告・提案があり、一部訂正のうえ承認された。
10. 11年度決算案の承認・監査結果について：田淵庶務理事より2011年度決算案と監査結果の説明があり、審議の結果決算案を承認した。
11. 12年度予算案の承認について：田淵庶務理事より2012年度予算案の説明があり、審議の結果これを承認した。予算表記方法を改善することが提案され、事務局で改善を進めることとした。
12. 『福祉社会学研究』の電子化について：田淵庶務理事より、公開が遅れていることが報告された。
13. 総会の運営について：田淵庶務理事より大会総会の議事および運営案が提案され、承認された。
14. 次回以降の大会開催について：第11回大会の開催校である立命館大学の鎮目理事より、実行委員長として挨拶があり、学年暦と調整しながら日程を検討していることが報告された。
15. 入退会の承認、会勢報告：田淵庶務理事より会勢報告があり、一般会員は6月1日現在で475名であること等が報告された。引き続き、新規入会者12名の承認と退会希望者の確認が行われた。
16. 次回理事会を12月22日（土）14時から上智大学にて開催することを決定した。

---

## ■新入会員紹介

---

(Web版では省略)

---

## ■事務局からのお知らせとお願い

---

住所変更や Email のアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当（学会のメールアドレス）までお知らせください（メールアドレス ws@univcoop.or.jp）。年度末に毎回十数通の不着が発生します。この Newsletter がメーリングリスト経由で受信できていない方は、Email が正しく登録されていない可能性があります。また、周辺で Newsletter を受信できていない方がいる場合も学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

**【発行・編集】 福祉社会学会事務局**